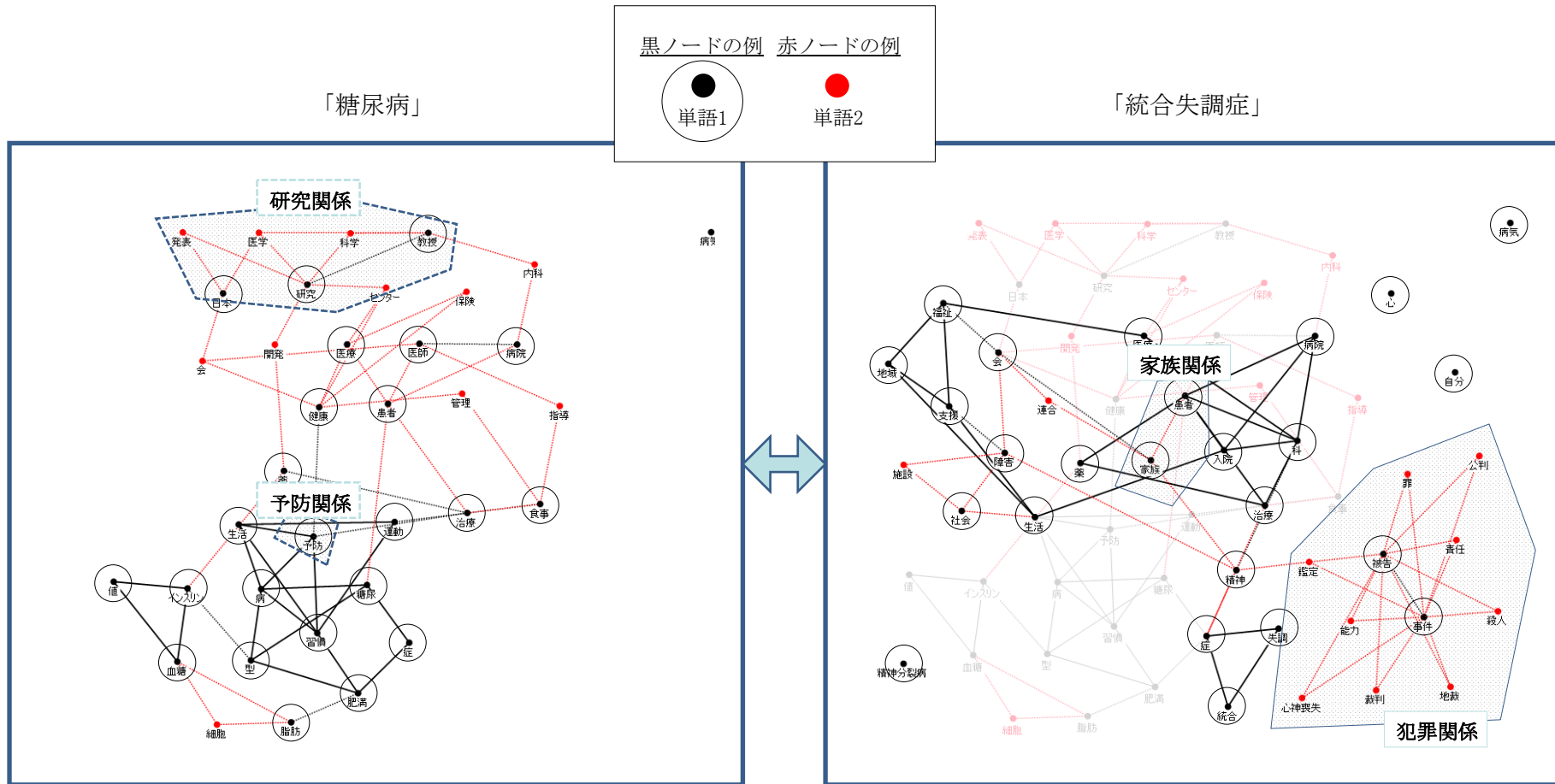


「糖尿病」と「統合失調症」の報道状況比較



注1) 視覚的に比較するために、「糖尿病」のデータを背景に薄い色で表示した。

注2) 実線で囲まれたエリア： 「統合失調症」に特徴的にみられる島
破線で囲まれたエリア： 「糖尿病」に特徴的にみられる島

調査結果概要

1. 精神疾患等と他の疾患の比較

- 1) 犯罪に関わる単語が多い:特に「統合失調症」「精神科」で「被告」「事件」など犯罪に関わる単語が上位20位にみられたが、「HIV/AIDS」「糖尿病」ではみられなかった。
- 2)「予防」や「研究」に関する単語が少ない:「HIV/AIDS」、「糖尿病」では「予防」、「研究」が上位20位にみられたが、「うつ」「統合失調症」「精神科」「精神障害」にはみられなかった。
- 3) 当事者の関係者に関する単語が多い:「うつ」「統合失調症」「精神科」「精神障害」には「家族」が共通して上位20位にみられたが、「HIV/AIDS」、「糖尿病」ではみられなかった。

2. 精神疾患等の経年変化(前期5年間と後期5年間の比較)

- 1)うつ:「うつ病」は孤立した単語となり、変わって「自殺」と「職場のメンタルヘルス」に関する報道が特に増加した。
- 2)統合失調症:「地域支援」と「統合失調症」に関する報道が特に増加した。一方で、「犯罪」に関する報道が減少していた(この背景として、平成13年に過剰に精神障害者の犯罪事件が報道されたことが考えられる)。
- 3)精神科:「自殺・うつ」「犯罪」「家族・子ども」に関する報道が特に増加した。
- 4)精神障害:「職場のメンタルヘルス」に関する報道が特に増加した。

3. 統合失調症とその他の比較

- 1)「うつ」との比較:「統合失調症」では「犯罪」「地域支援」「家族」に関連する報道が多くみられる一方で、「うつ」では「ストレス」「予防」に関する報道が多くみられた。
- 2)「HIV/AIDS」との比較:「統合失調症」では、「HIV/AIDS」と比較し、「家族」「犯罪」に関する報道が特にみられる一方で、「HIV/AIDS」では「諸外国」「予防」「厚生労働省研究」に関する報道が多くみられた。
- 3)「糖尿病」との比較:「統合失調症」では、「糖尿病」と比較し、「家族」「犯罪」に関する報道が特にみられる一方で、「糖尿病」では「予防」「研究」に関する報道が多くみられた。

調査結果の主な示唆

- 統合失調症について、統合失調症そのものや地域支援にか関する報道が増加し、うつや精神障害について、職場のメンタルヘルスに関する報道が増加する傾向がみられた。
- 精神科や統合失調症については、犯罪や事件についての報道がみられ、特に社会的関心の高い事件と関連して多くの報道がみられた。
- 精神疾患に関する報道状況を「HIV/AIDS」や「糖尿病」の報道状況と比較すると、「予防」や「研究」に関する報道が少ない傾向がみられた。
- 「HIV/AIDS」や「糖尿病」の報道状況と比較すると、精神疾患に関する報道は当事者の「家族」に関する報道が多い傾向がみられた。

精神医療メディアカンファレンスの試み

目的: 改革ビジョンに示された国民意識変革には、メディア側の理解と関心の向上が重要
方法: メディア従事者を対象にカンファレンスを開催しその評価を行う

<参加者の属性>

- 参加者数: 毎回10~15名
- 参加者の所属媒体: 新聞を中心にテレビ、出版、インターネット関係など

<内容>

第1回 (H20.11.14)

- ◆精神医療の現状と課題
- ◆精神疾患、特に統合失調症の理解
- ◆意見交換

第2回 (H20.12.12)

- ◆入院中心から地域中心への移行—その現状と課題—
- ◆意見交換

第3回 (H21.1.13)

- ◆情報コーナー(臨床研修制度の見直しの現状、ライシャワー事件における新聞報道)
- ◆精神科病院—病診連携の問題点と愛知県での取り組み
- ◆意見交換

<アンケート結果>

- カンファレンスの役立ち程度
 - 「役に立った」30.0%、「まあ役に立った」60.0%、「無回答」10.0%
- 機会あれば報道したい事項の有無
 - 「あった」60.0%、「どちらともいえない」40.0%
- カンファレンスの適切な実施頻度
 - 「3回程度のシリーズ」50.0%、「2~3ヶ月に1回」50.0%
- カンファレンスの適切な開催形式
 - 「講義」10.0%、「テーマを決めたディスカッション」10.0%、「簡単な話題提供とディスカッションの組み合わせ」50.0%、「その他」30%

<精神医療について今後知りたいこと>

精神医療の従事者がメディアになにを望むか、求められている役割、メディアは何ができるか、民間の病院はどんな努力をしているのか、家族支援、地域居住問題、青少年への教育問題、医療福祉政策、知識の普及と偏見の解消、精神障害者の人権擁護、うつ病の治療や職場復帰の具体的内容、患者は病気でどんな症状の体験をしているのか、諸外国の具体的な事例、国の施策の進捗状況